

I 学校教育目標

「豊かな心」「たくましい体」「確かな学力」の調和のとれた人間味あふれる児童を育成する



II めざす児童像

1 (き) 気遣いのできる子 (徳)

- ・人のためによりよいことができる子
- ・あいさつや返事ができる子
- ・約束やルールが守れる子

2 (ざ) 雑草のようにたくましい子 (体)

- ・心身ともに健康な子
- ・最後までやりとおすことができる子
- ・基本的な生活習慣が備わっている子

3 (き) 基礎・基本が身に付いた子 (知)

- ・すすんで学べる子
- ・自分の考えが表現できる子
- ・話を集中して聞ける子

III 基本方針

～明るく、楽しく、元気な学校をめざして～



1 子どもを原点に、子どもが安心できる環境づくりをする

- ・子ども一人一人にスポットライトをあてた活動を工夫する。
- ・「いじめ、いじわる、いやがらせ」に対しては、全ての教員が毅然とした態度で対応する。
- ・「わかる授業」「楽しい授業」「学びがいのある授業」づくりに努める。

2 地域、保護者の期待に応え、信頼される教職員、学校をめざす

- ・スピーディーな対応、誠実な対応に心がける。特に初期対応については細心の注意を払う。
- ・学校公開や学校行事における教育活動の公開、掲示物等の工夫、各たよりの発行、HPの活用等学校の方針、子どもたちの成長を積極的に発信する。

「美しい言葉の行き交う学校」

「美しい言葉」を伝えるには、美しい言葉を感じる心、感性が必要です。感性は、自然を感じることで養うことができますが、それは自然に触れた数や量でも種類でもなく、それを感じる心のあり方だと思ふのです。

また自然だけでなく、読書、人と人の繋がり、歴史や文化、社会の中でも人間としての感性は磨かれていきます。小学生という純粋な時期の児童だから養える感性も多いのです。

さらに、教師自らが感性を磨けるような学校経営にも努めていきたいと思ふます。

「生きる力」の育成のため、学びによって得た知識や体力が、豊かな心によって、調和のとれた「生きる力」となるように、教職員一同取り組んで参りたいと思ふます。どうぞよろしくお願ひいたします。